

## 第4回 かしてつ沿線地域公共交通戦略会議 議事録

日時：平成21年11月11日（水）午後1時00分～午後3時00分

場所：石岡市府中地区公民館 2F 会議室

出席：別紙の通り

### 1. 開会

### 2. あいさつ

田口会長（石岡市企画部長）

### 3. 報告事項

#### (1) 道路工事の進捗状況について

- ・石岡市工区（都市整備課 大関課長）

山王川橋梁の見直しを行ったため、若干時間がかかっている。石岡地区内の本線整備は、4工区に分けうち2本を11月13日に発注予定。残り2工区についても順次発注予定。

- ・小美玉市工区（都市整備課 山口課長）

現在レール撤去工事を10月14日に発注済み。レールの延長は4,900m（約158トン）、PC枕木2,200本、木製枕木1,000本を撤去予定。

木製の再利用可能650本→市でストックしている。既に地元で100本ほどを活用予定。（花壇等）

本工事は3工区に分け発注予定。11月27日入札予定で工期は2月末を予定。

### 4. 協議事項

#### (1) かしてつ跡地バス専用道化事業実証運行について

- ・運行主体について

→関鉄グリーンバスとすることです承

- ・運行計画（案）について

→終バス等、一部検討の余地はあるが、了承

- ・バス停に付属する施設、バス停周辺整備について

→場所毎の詳細な位置や横断の問題などを要再検討

- ・トータルデザインについて

→車両に関しては事務局案です承。シェルター等は今後再度調整。

- ・利用者サービスについて

→バスロケは、今後プレゼン等を実施し実際のものを提示しては？（次回協議会？）

#### (2) かしてつ沿線地域公共交通戦略会議補正予算（案）について

- ・原案どおり了承

## 【質 疑】

(谷口)・駐輪場は片側にあるようだが、専用道を横断してアクセスするのか？

→ (佐田) 利用者の安全性・利便性を考慮して整備する。

・また、デザインに対する意見を取った結果について、一部しか資料にうたわれていない。どのように公表していくのか？

→ (宮本) HP 等で広く周知していく方向で調整。

・バスロケを単独で整備した場合、多額のコスト（導入・維持）がかかるため、導入したはいいが続かないというケースが多い。資料で提示したクラリオンのシステム導入費用等ほどの程度なのか？

→ (武熊) 単独整備の場合は非常に高額。クラリオンの ASP 方式の場合、導入費用で 400 万。維持費は車両に搭載する位置情報を知らせる端末の基本料金と通信料金のみ。(携帯電話の料金程度) この維持費については、バス事業者に負担していただく予定。

(石田) バス停や駐輪場の詳細なイメージがないので、ここで決定→市で整備というのは、乱暴では？具体的なイメージを提示しないと決めきれないような気がする。

次回協議会に諮ってみては？

→検討する。

(県警) 県警としては、バス専用道として考えているため、バス以外のもの（人・自転車・自動車等）は全て排除していただきたいと考えている。そのため、専用道上を人が横断することは考慮していないが？

→ (佐田) 駐輪場アクセスする際は、当然市道側から入ってくるため交差点部以外を横断することは考えられない。ただしバス停部で片側にシェルター等がある場合はあり得る。

(県警) 県警としては、専用道を人が横断することは想定外。横断歩道の設置ということも考えづらい。

→今後調整

(県警) 誤進入防止の対策についてはどうなっているのか？

→ (佐田) 遮断機やライジングボラードを検討中。リモコン開閉し、始バスが空けて終バスが閉める体制を取りたい。

<意見1> (石田) リモコンといっても、電源工事やリモコンを揃えたりするにもイニシャルコストがかなりかかる。十分調整を図られたい。

<意見2> (県警) 始発終発で開閉ではなく、主要箇所については、通行時に開閉してもらいたい。

(田島)・前回の石岡市住民説明会の意見で出た「終バスの時間をもっと遅く」という意見はどうなったのか？

→ (武熊) 現在グリーンバスから出ている案の中では、終発が9:35だが、今後協議する余地はある。調整していく。

・石岡駅構内のバリアフリーの検討は？

→ (鈴木) 駅構内の整備に併せ実施予定。BRT 完成後の整備とはなってしまうが、ご了承承りたい。

・南台駅の北側からのアクセスはどうか？また南台駅の跨線橋は不良のたまり場になったりするので、撤去してもらいたい。

→ (鈴木) 現在は90センチ程度の人がやっと通れる道があるだけなので、安全に通行できるよう整備に努めたい。跨線橋の撤去は今の市の財政状況ですぐに対応することは困難。安全に管理し、計画的に撤去を含め考えて行きたい。

・南台駅前のトイレは今回の整備で直さないのか？

→ (鈴木) 公園のトイレと位置付けているため、今回の整備とは切り離している。予算確保と早期の修繕を目指す。

・石岡駅へのタッチは旧かしてつ駅舎の跡地に直進でタッチするのか？

→ (鈴木) 中心市街地活性化基本計画や石岡駅周辺の整備計画が今年度まとまるので、次年度から整備に着手する予定。そのため、石岡駅へ直進して旧かしてつ構内へ入る案を暫定整備として実施する財政的な体力が石岡市には無いため東口へタッチする案を優先的に考えたい。

BRT 整備に1~2年遅れるが、直進案による整備計画が無いわけではないのでしばらく辛抱していただければと思う。

<意見> (石田) 中活等の計画があり、石岡駅周辺に手を入れるのは、今、非常にタイミングが悪い。しかし、一番利便性が高いのは、直進して石岡駅

にタッチする方法なので、皆さんの協力で、何とか検討していただきたい。東口へのタッチでは駅へのアクセスが悪くなるため、どうしても専用道の魅力が低下するのでぜひ前向きに検討を。

<意見> (整備局地域道路課)

専用道を横断するなという考えは無理だと思われる。人がバス乗車等のために専用道を横断することはあるということを前提に、現実的な運用を検討する必要があると思う。

直線の道路で見通しは良いということだから、横断歩道等を設置すればよい。

<意見> (石田) 利用者とのタイアップについては、バスの回数券〇〇万円買った方には、名前を入れるといったような利用促進とタイアップを兼ねた方法もあると思う。かしてつ応援団方々などの若い方の意見を集約してより良いものを考えて欲しい。

(小坂) バスのデザインについては、機能を優先するか、デザイン(意匠)を優先するかで大きく変わってくる。今回のデザインに関するアンケート結果の中に、木を活用したものでは維持管理経費がかかりすぎるとの意見もあったが、木は30年以上耐用する丈夫なものを利用する予定。また経年変化を楽しめると思う。シェルターについても、今回のデザインのコンセプトは、ある程度、機能<意匠であっても良いと考えており、雨風に対しても許容していただきたいと思っている。例えばシェルターを密閉型にするということは、デザイン自体を考え直すことに繋がる。

→ (田島 他) 土地柄で、筑波おろしなど風が冷たい地域であるので、シェルターの横板などは必要では? 落とし所を考えていかなければならない。

<意見> (石田) 事業の評価(モニタリング)等のために各データの従前値となるものを把握しておくように。後に困ることになる。

(田島) 枕木を南台の花壇整備に利用したい。

→ (宮本) 考慮したい。

(島田) 茨城空港開港に間に合わせるために整備を進めているが、工程上、非常に厳しい状況にあると思われる。見通しはどうなのか?

また、遮断機等の整備について、国の100%補助社会実験が適用になるとの

話であったが政権交代により影響はあるのか？もし市で設置するとなると予算措置が必要になるため見通しを伺いたい。

また、県警に伺いたいですが、遮断機やボラードを設置しないと専用道は供用できないということなのか？

→（上遠野）開港に間に合わせるという当初の目標通り鋭意努力しているところだが、調整により発注が遅れるなどしたため、かなり厳しい状況であるが、関係機関の協力のもと何とか頑張りたい。

（小幡）政権交代により、社会実験費用についてはかなり削減されている。ただし、この事業に関しては国（本省）も注目している事業であるため、前向きに対応していく予定である。

（中山）運輸局のバス購入に充てる『地域公共交通活性化再生総合事業』の補助については、本省から、今年度の使用目的が明確になっているものについては、活用可能という確認を得ている。

（県警）最低限、重要な箇所（交通量が多いところなど）については必須。それ以外については、安全が確保されるのであれば順次でも可。

<意見>（石田）次回の協議会で、トータルコストをまとめて提示して欲しい。事業費に関する部分はオープンにするべき。特にハード整備は2市で実施しているため、見えてこない部分も多いのでお願いしたい。

### ○今後の検討課題

1. 専用道横断についての考えを整理する
2. デザインアンケート結果の周知方法と実施の検討
3. バスロケのデモ（次回協議会時）
4. 駐輪場・シェルターの詳細イメージの提示
5. 誤進入防止の詳細検討
6. 石岡駅のタッチの方法
7. タイアップの具体案
8. デザインコンセプトの落とし所
9. トータルコストの提示（次回協議会時）